

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	5134
部名	管理部	課名	学校施設課	課長名	角田 栄次
事務事業名	小学校・中学校校舎耐震補強事業				
予算上の事務事業名	小学校・中学校校舎耐震補強事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14121		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
地震防災対策特別法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
学校教育施設として、生徒の生命・身体の安全を確保するために、建築基準法改正後(昭和56年6月)以前に設計、施工された校舎についての耐震診断結果に基づき耐震補強工事を行う。			対象校の児童、生徒及び教職員		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
早期に補強すべきCランク対象校の小学校12校(13棟)及び中学校1校(1棟)の耐震補強工事を実施。 (補強必要棟数(Cランク):127棟 平成16年度未補強済数:112棟) 【実施校】 向陽小、谷口台小、弥栄小、共和小、東林小、橋本小、南大野小、谷口小、清新小、上溝小、九沢小、大野台小、相陽中 【補強方法】 鉄骨ブレース、スリット、壁閉塞、柱補強					
6 関連・類似事業や他市の状況					
中核市における本市の耐震補強工事の実施率はトップレベルにある。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	245,673	323,348	410,620	520,803	0
一般財源	100,649	76,998	119,758	141,267	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	145,024	246,350	290,862	379,536	0
人件費の合計	10,433	13,223	16,931	21,467	0
事業コスト合計(a)	256,106	336,571	427,551	542,270	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	校舎耐震補強事業			対象名称(単位)	校数
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	245,673	323,348	410,620	520,803	0
対象数	11	13	13	12	0
単位あたり経費(円)	22,333,909	24,872,923	31,586,154	43,400,250	#DIV/0!
前年度比		1.11	1.27	1.37	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	耐震補強工事校数		指標式と指標の説明	要補強校（Cランク棟）の耐震補強		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	11.0	13.0	13.0			
目標	11.0	13.0	13.0	12.0	0.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	耐震補強工事進捗率		指標式と指標の説明	実施棟数 / 対象棟数 × 100 要補強校（Cランク棟）の内の耐震補強工事実施率		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	66.1	76.4	88.2			
目標	66.1	76.4	88.2	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	100.0	100.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		平成17年度実施分で本市の「早期に補強すべきCランク棟」は完了する予定だが、津久井町及び相模湖町に残るCランク棟の補強工事を早急に進める。さらに、国基準では補強が必要とされているBランク棟についても計画的に補強工事を実施したい。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 校舎の大規模改造事業等に併せて整備するなど経費削減に努めながら、計画的な整備を進める。			14 課題として認識されたこと Bランク棟の工事計画の策定。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				